


新入社員、求む！



PIP LOGISTICS RECRUITING GUIDE

 ピップ物流株式会社

物流を一貫して担うことでお客さまの企業力強化に貢献

当社は小売店や卸売店、メーカーといったお客さまから物流業務を一貫して受託する、3PL（サード・パーティー・ロジスティクス）事業を展開しています。お客さまのニーズを元に最適なソリューションを提案し、全国に展開する自社物流拠点のネットワークを活かして、オーダーメイドで物流システムを構築していきます。こうした独自のロジスティクス戦略は厚い信頼を受け、これまで着実な成長を遂げてきました。

お客さまは倉庫運営・保管・荷役・運送まで一貫して委託することで、物流に関わる手続きを簡素化させ、コストを削減。同時に経営資源をコア事業に集中させやすくなり、自社の強みを伸ばして企業力強化がはかれます。ロジスティクスによるバックアップでお客さまに貢献できることこそ、ピップ物流の価値。今後も受託業務についてのクオリティを高め、市場の変化に対応しながらノウハウをアップデートしていきます。

更なる挑戦

わが社は、1986年に設立し2001年から3PL事業に参入、小売業、卸売業、製造業などのお客さまのご要望に柔軟に対応して3PL物流（入出荷、保管、庫内オペレーション、流通加工、配送など）のサービスを提供させて頂いております。

設立以来の知恵と技量と努力を受け継ぎ、品質・精度向上と各協力会社様との連携によるコストパフォーマンスを武器に果敢に日々努力しております。

また、弊社は、これまでに幾多の失敗、経験、壁を乗り越えてきました。そのような中で設立時より蓄積してきたピップ物流ならではの「DNA」をフルに発揮し、その背景で真髓でもある「対外的には最高の品質を、社内では最大の効率を」をキーワードに日々努力を積み重ねて挑戦してきました。

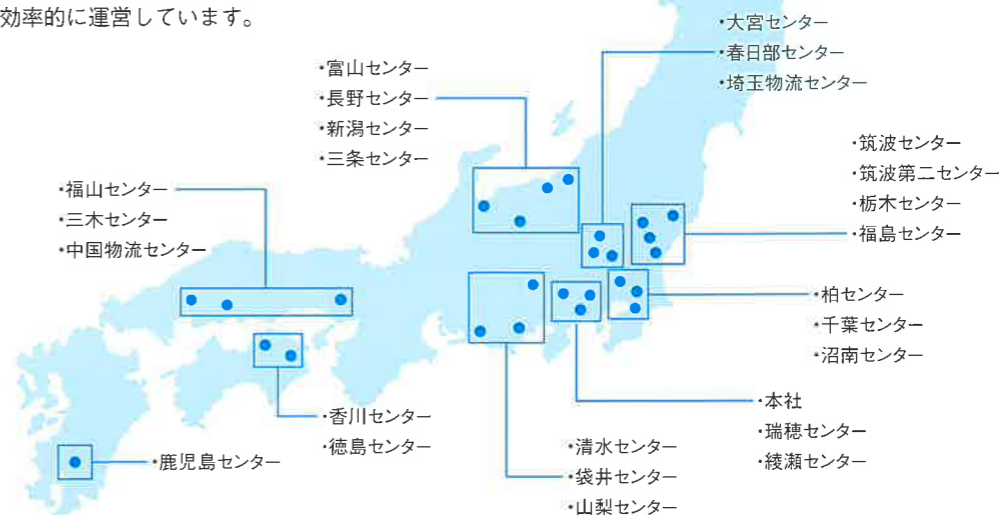
「物流」を取り巻く環境は決して安定の時代ではありません。

エネルギー供給不足による燃料費・光熱費の高騰。

または、少子高齢化による人財不足や働き方改革への取り組み課題などの社会環境、消費動向により物流業界が大きく変化しています。少しでも気を抜けば弱体化します。

事業の基盤となる精度向上、新しい技術やコスト意識を常に念頭におき、様々なニーズやご要望に対応した3PLの実現と環境変化への対応を目指し、次のステップへ更なる「挑戦」をしていく所存でございます。

物流ソリューションカンパニーとして、全国で25の物流センター（2024年10月現在）が稼働し、今後も新たなセンターが立ち上がる予定です。運び込まれた商品を店舗別、方面別に仕分けして出荷するTC型、センター内にストックした在庫を店舗別、方面別にピッキングして出荷するDC型、TC・DCの両方を兼ね備えた混合型など、型にとらわれずお客さまのニーズに合わせて効率的に運営しています。



ピップ物流の拠点

BASE

WORKING

ピップ物 流の仕事

クオリティを追求しながら常に最適化した物流サービスを提供

お客さまの商品をデータ通りに仕分け・ピッキングし、物流センターから滞りなく出荷するのがピップ物流の日々のミッションです。お客さまの要望に沿ってオーダーメイドで物流システムを構築するため、独自のノウハウで業務を行っており、決して均一な単純作業ではありません。また、お客さまと常に情報を共有することで、新たな物流センターの開設や、効率化のための移転など、常に最適なロジスティクスを提供できるように努めています。

センター長を筆頭に、社員はセンターの安定運営と収益アップのために、日々の気づきを大事に業務に取り組んでいます。業務効率化や作業精度のアップ、パート管理といった業務のほか、センター間での応援も行い、いざというときは互いに協力し合う絆の強さが私どもの強みであると確信しております。

こうしたセンターの運営を本社の営業・管理部門が随時サポートし、お客さまの信頼に応えています。



CENTER | センター

物流センターではお客さまの商品を店舗別に仕分け・ピッキングし、出荷作業を行います。社員は担当部門を持って作業するだけでなく、そこで働くパートの管理や指導・育成も担い、作業のしやすい職場環境を整えることも仕事の一つです。大勢の人間と限られた時間で作業を行うため、瞬時の判断力、積極性、周囲との協働が重要になります。



SALES | 営業

お客さまが物流において抱える課題や要望に対し、最適な物流システムの構築によって、企業力強化のサポートを行うのが営業の役目です。コスト削減や効率化など、お客さまによってニーズはさまざま。それを引き出し、オーダーメイドによる物流システムの設計や、倉庫運営など、各種ソリューションを柔軟かつスピーディに提案します。



MANAGEMENT | 管理

全国の物流センターの運営を統括してサポートしているのが、本社の管理部門です。センターとコミュニケーションを取りながら、作業の見える化、使用機器の手順マニュアル作成をはじめ、毎月の請求書発行や予算管理などの業務を各部門で行っています。そして、大切な社員の皆さんが安全に働けるための環境づくりに取り組んでいます。

TRAINING | 教育研修体制

業務において必要な知識や技能を身につける人財育成や支援制度

ピップ物流では入社時と、その後の役職に応じて随時必要な研修を行い、社員の育成を行っています。

新入社員は入社後の「新入社員研修」において社会人としての心構えやビジネスマナー、会社の事業や制度を基礎から学び、業務上必要なスキルの習得をはかります。社会人経験者採用の社員に対しては、入社1年以内に「会社・業務基礎知識研修」を実施し、働く上で必要な知識を身につけ、実務に活かします。その後の、ステップアップとして、職位別に「物流人財育成研修」を導入し、物流のプロとして活躍できる人財へとキャリアアップしていきます。

また、社員自らの意思で能力を開発する機会を広げるために、自己啓発支援制度を設け、希望する社員へのサポートを行っています。



研修・支援制度

- 内定期間中～入社1年目
内定者交流会、通信教育、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修
- 階層別研修
職位別および入社年度別で実施
- 自己啓発支援制度
通信教育、自己選択研修

ピップ物流を 受けようと思ったきっかけは？

- このコロナ渦をきっかけに、物流の世界に興味を持ちました。就職活動で物流会社を中心に探していたところ、ピップ物流株式会社を見つけ、受けようと思いました。
- 個人的にピップ製品をよく使っていました。物流業界を目指していたところ、親しみを持っていたピップの関連会社に物流があると知り、ここで働いてみたいと思いました。

ピップ物流に 入社を決めた理由は？

- 面接の際に人事の方が物流や会社のことについて丁寧に教えてくださったことや、全国にセンターを持ち、日々の暮らしを支えていることに感銘を受けました。
- 現場見学に行ったとき、自分が希望していたイメージ通りの仕事であることがわかりました。ここなら自分のやりたい仕事でキャリアアップできると感じ、入社を決めました。

説明会や選考で 印象に残っていることは？

- 会社のことや物流業界について、説明会の段階から詳しく教えていただき、業界で働くイメージや流れを理解することができました。また、面接もリラックスしてできました。
- 受け取る側の気持ちを考え、商品が取り出しやすいように仕分けを行うと聞き、細やかな仕事ぶりや顧客と信頼関係を築き、地域社会に貢献していることに感動を覚えました。

就職活動での アドバイスを教えてください

- チャレンジ精神を持ち、希望の職種や理想とする給与、働き方ができる企業を積極的に受けましょう。また、うまくいなくても、すぐに気持ちを切り替えることも大切です。
- 面接では緊張で言葉が出てこず焦りましたが、うまく喋れなくても自分がどれだけこの仕事をしたいのか、誠意を伝えることが大切です。そのための練習をしておいてください。

内定者の声

VOICE

PEOPLE

ピップ物流のひと

K.Y.

2011年入社・工学部卒
春日部センター センター長



H.A.

2022年入社・人間生活学部卒
春日部センター 商品管理



仕事を丁寧に教わり、着実に成長できる環境があります

H | 新卒で現場に配属されて約1年、仕事にも慣れてきました。パートさんの人員配置や指示を行い、滞りなく毎日の出庫ができるように動いています。パートさんからもあれこれ確認や提案が出てくるので、そこに耳を傾け、より良い形で実現していくことも意識しています。

K | 1年目でそこまでできているのは素晴らしいですね。センター長である私から見て、Hさんはスポンジのように何でもすぐに吸収してくれて、既に頼もしい存在です。仕事を覚えるのは大変でしたか？

H | 業務については、半年間指導員の先輩がマンツーマンでサポートしてくださったので、すごく心強かったです。1つ上の方で話しやすく、わからないことは丁寧に教えていただきました。常に私を気にかけてくれて、困っていたらすかさず助けてくれたし、質問しやすい環境を作ってくれていたことも感謝でいっぱいです。



K | 人に教えることで、その人も成長できる、そう考えて指導員となる社員を選びました。見ているとその先輩とHさんの両方に成長が見られたので、我ながら大成功の人選だったなと思います。

H | そんな風に考えて育成してくださっているのは、

すごく嬉しいしありがたいです。あとは、私の担当エリアでは30~40人のパートさんが働いていますが、顔と名前を一致させて、関係をしっかり築いていこうと頑張りました。

K | 社員はピッキング作業をパートさんに行ってもらう立場だから、関係構築はすごく大切ですね。新人のうちはパートさんに仕事を教わることもあると思いますが、気持ちを見せ、努力して知識をつけることで、今度はみんなが信頼してついてきてくれるようになります。

H | 確かに、最初はいろんなことを教わりました。みなさん気さくでコミュニケーションを取りやすく、たくさん吸収できました。今は「頼ってもらえているのかな」と感じる部分が増えてきています。

K | 頑張りの結果ですね。人や物を動かすのはコミュニケーションなので、大事にしてください。私自身はパートさんと触れ合う機会は少ないけれど、社員間のコミュニケーションを大切にすることで、それがセンター全体に波及すればいいなと思っています。

H | 確かに社員間の雰囲気はすごく良くて、センター長の想いが、気持ちよく働きやすい環境につながっているのかも。私もコミュニケーションを大事に、まだまだ成長してみんなを引っ張りたいです！



F.H.

2008年入社・専門学校卒
清水センター センター長



H.Y.

2020年入社・高校卒
清水センター 商品管理



共に働く人たちとのつながりを大事にすれば、仕事は成功する

H | 入社から3年が経ち、自分の考えで工夫して仕事をすることも多くなってきました。データを活用してミスを減らしたり、作業の効率化を図ったりできるようになりました。また、半年に1度の棚卸業務の計画や準備にも慣れてきました。毎日の作業では当日の作業計画を立てていますが、自分が予測した通りに作業が終わることも増えました。今後の目標は、パートさんともっとコミュニケーションをとることです。

F | ベテランのパートさんも多いから、若いHさんが指示するには気後れすることがあるかな。でもみなさん話しやすい人ばかりだし、指示の部分をしっかりと意識すれば大丈夫。指示や判断が社員の仕事です。「自分が責任をとりまします」というくらいの強い気持ちで踏み込んでいっていいと思います。自分なりのやり方を確立して下さい。多くの人が働く物流センターは人とのかかわりが感じられる職場です。お互い助け合い、仕事を楽しみながら、学んでほしいと思います。

H | そうですね。「的確な指示ができているかな？」と考えてしまうこともありますが、自信をもって接して、信頼されるようになっていきたいと思います。

F | 期待しています。この仕事で大切なのは人との連

携であり、コミュニケーションです。私はこれまで5か所のセンターを経験しましたが、地域ごとにカラーがあり、さまざまな人がいます。でも、コミュニケーションがしっかりできていれば、成果は必ずついてきます。数多くの人と知り合うこと、関わることを意識してコミュニケーションを深めていけば、全国どのセンターに行っても仕事はうまくいきますよ。

F | 他のセンターにも行ってみたいと思っているので、参考になります。いろんな経験をして人と関係を築く力をつけ、キャリアアップしたいです！

F | 経験といえば、センター長として、社員にはセンターのすべての作業に対応できる存在になってもらうのが理想的だと思っています。業務について、もっと幅広く学んでもらえるように考えていきます。

H | そういえば先日、ピンチヒッターで別エリアの業務を任せられました。自分が任命されるとは予想外でしたが、あれも考えられた上での配置だったんですね？成長できる環境で働いているのがうれしいです。この仕事は災害など、何かが起こっても止めることができない大事な仕事です。その責任も感じながら、この先もたくさんのことを身につけたいと思います。





ピップ物流株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-15
TEL 03-5840-6361 FAX 03-5840-6823
<https://www.piplogi.co.jp/>

